

やまなしエコライフ県民運動

～はじめようエコライフ! CO₂ゼロやまなしをめざして～

エコライフ県民運動は、皆さんが日々の生活の中で7つのエコ活動を行うことにより、環境にやさしい「CO₂ゼロやまなし」を実現していく運動です。“未来の世代に、より良い環境を残すための架け橋としたい”という意味をこめて「レインボーアクション」と名付けています。

皆さんも身近にできる運動から参加してみませんか。



山宮保育園(甲府市)の園児はペットボトルを再利用したマイボトルを使っています

⑨ リユースびん運動

循環型社会をつくるには3R(リデュース、リユース、リサイクル)が大切ですが、その優先順位を考えたことがありますか? リサイクルの前には、あるものをそのままの形



大切なのは消費者の意識。今こそリユース活動を

山梨県びん商業組合理事長 葉袋 貴久さん
 で使う「リユース」再使用」に取り
 組むことがより重要です。
 リユースびんの回収は古くから行
 われていますが、実は今こそ見直し
 てほしいもの。大切なのは、消費者
 の皆さんがリユースする意識を持つ
 ことです。再使用できるびんを多く
 回収できるよう、自治体などの有価
 物回収のルールを守って出す、また
 は購入したお店に戻すことを心掛け
 てください。

この活動は、身近な環境について考え、理解を深める良い機会となっています。35年以上続いている恒例行事のため、地域の方々もとても協力的です。
 今年の活動では、一升びん約1、400本、ビールびん約1、200



有価物回収は、押原中学校の夏休み恒例行事

身近なエコ活動で資源の大切さを実感

押原中学校(昭和町)
 本が集まりました。生徒たちは回収したびんの山を前に、資源の大切さを改めて実感していました。

リユースびん 運動

環境負荷の少ないリユースびんの利用を推進するため、一升びんやビールびんなど繰り返し使えるリユースびんに入った商品を購入しましょう。空きびんは販売店などに返しましょう。

リユースびんは、CO₂排出量がスチール缶の約7分の1、ペットボトルの約3分の1と、環境負荷の少ない容器です。

マイボトル 運動

ペットボトルや紙コップなどの飲料容器を削減するため、外出時にはマイボトル(水筒や飲料ボトル等)を携帯しましょう。

平成20年の清涼飲料水のペットボトルの生産量は、全国で52万トン。平成7年と比較すると4倍以上に増えています。

マイはし 運動

割りばしなどの使い捨て用品を削減するため、外食時やお弁当を食べる際には、マイはしを使いましょう。

平成20年の割りばし販売量は、全国で約226億膳。その97%は海外から輸入されています。販売量は、昭和35年と比較すると5倍以上に増えています。

マイバッグ 運動

レジ袋など使い捨ての買い物袋を削減するため、お買い物の際は、マイバッグやマイバスケットを持って行きましょう。

レジ袋の削減等に関する協定に参加した県内の店舗では、平成20年7月から平成22年6月までの2年間で、1億5,750万枚のレジ袋が削減されました。

環境家計簿 運動

家庭で消費されるエネルギーの記録をとり、排出される二酸化炭素(CO₂)の量を計算し、その削減に努めましょう。

1世帯あたりの二酸化炭素(CO₂)排出量は年間5トンになります。環境家計簿に取り組んで、県に提出していただいた方には抽選で記念品をプレゼントします。



緑のカーテン 運動

緑のカーテンは、アサガオやゴーヤなどつるが伸びる性質を利用して、窓辺や壁面に作る自然のカーテンです。夏場の暑さ対策として、緑のカーテンを育ててみましょう。

緑のカーテンは、建物への日差しを遮るとともに、葉の蒸散作用などにより気温上昇を抑えます。

エコドライブ 運動

自動車から排出される二酸化炭素(CO₂)を削減するため、「ふんわりアクセル」「加減速の少ない運転」「アイドリングストップ」など環境にやさしいエコドライブを実践しましょう。

エコドライブの実践は燃料の削減に大きな効果があります。普通よりも少しゆっくりと発進する「ふんわりアクセル」で11%程度燃費が改善するといわれています。

7つの運動
 (レインボーアクション)

エコライフ県民運動推進店

エコライフ推進店 10月1日からこの運動を支援する推進店制度が始まりました。推進店は県のホームページで公表しています。

問い合わせ 環境創造課
 TEL 055-223-1506 FAX 055-223-1507
 やまなし エコライフ